

エキナセアプルブレア製剤摂取による免疫機能賦活効果 「応用薬理」(第80巻 第5/6号)79-87(2011)要旨



【研究背景】

アメリカやヨーロッパでは、エキナセア *Echinacea purpurea* は頭痛や創傷の治療に使われており、これまでも自然免疫系への賦活作用については多くの研究がおこなわれています。しかし、獲得免疫系への効果については十分なエビデンスはありません。そこで私たちは、エキナセア含有製剤を摂取することによる免疫機能賦活効果を検証することを目的として、臨床試験を実施いたしました。

【方法】

試験デザイン	二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験
対象者	疲労感を感じ、疲れが取れにくいと感じている 22 名の男女
群の割付	無作為に 2 群 [エキナセア群 11 名、プラセボ群 11 名]
被験品	エキナセア群にはエキナセア抽出物 500 mg を含む製剤 プラセボ群にはそれを含まない製剤
試験期間	3 週間/検査は摂取開始前と摂取開始 3 週後
主な検査項目	血液学・生化学検査と免疫力にかかわる項目 T 細胞数、CD8 ⁺ CD28 ⁺ T 細胞数、CD4/CD8 T 細胞数比、 B 細胞数、NK 細胞数、T 細胞増殖能係数など 免疫カスコア・T リンパ球年齢を算出し、評価

【結果と考察】

エキナセア群の T リンパ球年齢は摂取前 53.0 ± 5.8 歳から摂取 3 週後 50.2 ± 6.1 歳に若返った ($p = 0.038$) のに対して、プラセボ群では摂取前 51.0 ± 3.3 歳から摂取 3 週後 50.0 ± 4.5 歳へと ($p = 0.6$) 有意な変化は見られませんでした。

免疫カスコア (24 点満点) については、エキナセア群では免疫カスコアが 16.7 ± 1.1 から 18.1 ± 1.6 へと改善された ($p = 0.030$) のに対して、プラセボ群では 16.8 ± 1.8 から 17.3 ± 1.5 ($p = 0.7$) と、有意な変化は見られませんでした。

3 週間における変化量を群間で比較したところ、リンパ球数 ($p = 0.035$)、CD4 T 細胞数 ($p = 0.050$)、メモリー T 細胞数 ($p = 0.046$) において、プラセボ群よりエキナセア群のほうが有意に増加し、白血球数 ($p = 0.071$) と T 細胞数 ($p = 0.060$) で増加傾向が見られました。

以上の結果から、エキナセアを 3 週間継続的に摂取することによって、免疫力(特に獲得免疫系)が総合的に賦活される可能性が示唆されました。

お問合せ先: アスク薬品株式会社

TEL: 047-399-7598 E-mail: info@askic.co.jp URL: <http://www.askic.co.jp>

協力: 株式会社オルトメディコ

ASK Intercity
PHARMACEUTICALS AND EXTRACTS

ORTHO MEDICO